

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年9月 日

①学校名:	国立大学法人愛媛大学	②所在地:	愛媛県松山市道後樋又10番13号		
③課程名:	社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H28.9.26
⑥責任者:	八尋秀典・理工学研究科長	⑦定員:	30	⑧期間:	2カ月
⑨申請する課程の目的・概要:	社会基盤構造物の維持管理、高寿命化に即応できる技術者の育成が地域社会のニーズとなっている。本プログラムは、土木構造物に携わる行政管理者および民間の建設技術者に、橋梁やトンネルなどの社会基盤構造物の維持管理に必要な知識と技術を習得させることを目的としている。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	大学卒業程度の学力を有し、土木・建設業界の技術者として実務経験を有する者		
⑫対象とする職業の種類:	官公庁等土木技術者・建設業界技術者・その他の者 (複数の所属機関における実務経験により、同等の要件を満たすと当大学で認められた者)				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 社会基盤構造物の維持管理に必要な知識と技術		(得られる能力) マネジメント能力、点検および診断能力		
⑭教育課程:	橋梁、トンネル、擁壁、地盤、斜面、河川、上下水道の維持管理および地震防災について全般的に学ぶプログラムとなっており、授業総時間は合計121.5時間となっている。e-ラーニングによる基礎知識の事前学習(13.5時間)、座学・演習・実習・グループ研究(12日間の1時限目~5時限目、計90時間)、レポート作成(6時限目、計18時間)で構成される。また、授業時間とは別に、認定試験がある。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	総授業時間121.5時間の全てを受講し、さらに論文試験・プレゼンテーション試験、筆記試験(択一試験)に合格				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	「履修証明書」及び、(大学独自の資格):「四国社会基盤メンテナンスエキスパート」の付与				
⑰総授業時数:	121.5 時間	⑱要件該当授業時数:	61.5 時間	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	51%
⑳成績評価の方法:	出席状況及び論文試験・プレゼンテーション試験、筆記試験の成績				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施している。また受講者にアンケート調査を実施し、各授業科目、講座全体への意見、感想、要望を収集する。それらを学内組織である社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座運営委員会にて分析・評価し、次年度以降のカリキュラムの改善に活かす。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	講座の実施前後、並びに受講後4か月後にアンケート調査を行い、受講生の意識変容、行動変容、養成講座で学んだ知識・技量のメンテナンス業務における効果等を評価する。また、修了生に対して1年毎のヒアリングを行い、受講後のキャリアアップや資格取得への効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	産官学の協議会組織である「愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会」を組織化している。本協議会では、愛媛大学、国土交通省四国地方整備局、愛媛県、愛媛県内20市町、民間建設関係団体(合計33組織)が連携して、今後の地域の社会基盤が機能できなくなる老朽化に対して、調査、研究、情報交換を行い、地域のインフラ維持及び再生を担う中核的人材を育成している。この協議会を通して本教育プログラムの内容や実施方法について提案、助言を受けており、また講師派遣やフィールドワークの実施において協力を得ている。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	eラーニングの活用、通学が難しい受講生への宿泊施設の案内				
㉕ホームページ:	(URL) http://cdmir.jp/lectureship/youkou28.php				

事務担当者名:	塩出 和久	所属部署:	社会連携推進機構・社会連携拠点チーム(チームリーダー)
連絡先:	(電話番号)089-927-8974 (E-mail) shiode.kazuhisa.mm@ehime-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。